

FPT証券(FTS)



《企業紹介》

同社はベトナムの中堅証券会社である。2007年にベトナム最大の情報通信企業である FPT 情報通信のグループ会社として発足した。その後 FPT 情報通信は同社の株式を売却し、2022年12月時点の保有比率は筆頭株主である日本の SBI グループ企業（SBI Financial Services）の15%に続いて第2位となる12%に後退している。

同社は現在も FPT ブランドの利用を継続し、FPT 情報通信の技術力に裏打ちされた利便性の高い取引インフラを顧客に提供し、競合他社との差別化を図っている。トレーディングを中心とした資産関連収入のウェイトが低く、証券仲介、証拠金貸付、運用アドバイスを中心に業績の伸長を図っているとみられる。

《2026年4-6月期業績》

2026年4-6月期の営業収入は前年同期比29.4%増の3,095億 VND（ベトナムドン）となった。資産関連収入が前年同期の93億 VND のマイナスから656億 VND のプラスに浮上したことが貢献している。一方、証券仲介業務関連収入は同2.1%減の2,433億 VND だった。4-6月期の株式市場の出来高が前年同期に比べて減少したため、委託手数料収入が同48.9%減の251億 VND に減少したことが響いた。株式購入資金の顧客向け貸付金残高の増加によって貸付金等からの収入は同10.7%増の1,920億 VND となったが及ばなかった。

営業費用は同36.2%増の1,864億 VND だった。顧客への貸付金に対する引当金や減損費用が同72.2%増の1,425億 VND に大きく増加したことが響いた。この結果、純営業収入は同20.4%増の1,230億 VND となった。金融収入の受け取り超過額が減少したものの、一般管理費が同4.4%減の193億 VND となったため、営業利益は同24.8%増の1,053億 VND となった。税前利益は同24.7%増の1,056億 VND、純利益は同28.8%増の780億 VND となった。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	239.1	-21.7	284.4	26.6	370.2	16.2	378.4	21.3	309.5	29.4
資産関連収入	-9.3	-	-5.8	-	84.8	-12.7	118.3	34.3	65.6	-
証券仲介業務関連収入	248.4	1.4	290.2	30.8	285.0	28.7	259.5	15.9	243.3	-2.1
その他	0.0	-33.3	0.1	62.5	0.4	878.6	0.6	698.7	0.6	1,206.8
営業費用	136.9	39.1	177.4	75.1	183.8	60.1	176.8	45.0	186.4	36.2
資産関連収入に対応する費用	1.1	962.9	1.2	171.8	0.5	-0.5	1.1	73.1	1.3	18.2
証券仲介業務関連収入に対応する費用	135.8	38.1	176.2	74.7	183.3	60.4	175.7	44.8	185.1	36.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
純営業収入	102.2	-50.6	107.0	-13.2	186.4	-8.6	201.6	6.1	123.0	20.4
一般管理費	20.2	0.0	21.5	-4.8	24.9	-9.7	19.8	4.4	19.3	-4.4
金融収支(マイナスは収入)	-2.4	-	-2.5	-	-2.8	-	-2.2	-	-1.6	-
営業利益	84.4	-55.4	88.0	-14.4	164.3	-7.9	184.0	6.6	105.3	24.8
税前利益	84.7	-55.3	88.6	-14.2	164.3	-8.2	184.4	6.6	105.6	24.7
純利益	60.6	-62.2	55.1	-31.7	128.1	-19.7	159.9	4.5	78.0	28.8

注1 営業収入の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。資産関連収入は証券の売買益・評価益や保有証券からの利息・配当金、証券仲介業務関連収入は委託手数料や証拠金取引の貸付金利息、引受手数料、コンサルト手数料が含まれる

注2 営業費用の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。トレーディングは各種売買損・評価損及び取引コスト、サービスは対応コストや証拠金取引の貸倒費用が含まれるが、支払利息は含まれない

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260728

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を、2025 年 12 月末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。証券仲介業務の業績が伸び悩んでいることが嫌気され、同社の株価の VN 指数に対するアンダーパフォームが続いている。7 月 27 日時点の 2025 年末比変動率は VN 指数の 6%下落に対し、同社の株価は 32%の下落となっている。7 月 27 日終値 20,100VND ベースの時価総額は 7.6 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期実績の純利益 3,968 億 VND の 19 倍となっている。

同業他社が相次いで大型の増資に踏み切り、資本力を増強してシェア拡大や顧客貸付金残高の拡大に積極的に動いているのに対し、同社はそのような動きとは一線を画し、堅実な顧客基盤の形成を進めている。また、顧客貸付金に対する貸倒引当金を積極的に積み増すなど、財務健全性の維持および向上にも余念がない。株式市場の予期せぬ調整などへの対応力は高まっている可能性がある。

2026 年 12 月期の会社計画は営業収入が前期比 0.48%減の 1.2 兆 VND、税前利益が同 7.70%増の 5,500 億 VND と緩やかな伸びを想定している。2026 年 1—6 月期累計実績の進捗率は営業収入が 57%、税前利益が 53%となっており、財務の安全性向上と顧客基盤固めを進めながら、計画を順調に消化しているとみることができるだろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260728

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。